

前回定例会（平成 26 年 8 月 6 日）以降の行政の動き

平成 26 年 9 月 3 日
新潟県防災局原子力安全対策課

1. 安全協定に基づく状況確認

8 月 11 日、柏崎市、刈羽村とともに、月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 7 号機津波監視カメラ設置状況 現場確認
- ・ 6 号機屋外トレンチ止水等の状況 現場確認

2. 安全管理に関する技術委員会

(1) 安全管理に関する技術委員会

8 月 27 日、平成 26 年度第 2 回技術委員会を開催しました。

課題別ディスカッションの議論の状況について、コアメンバーの委員から報告していただきました。また、拡散シミュレーションを行う事故想定における放射性物質の放出開始時間については、改めて議論することになりました。

(2) 課題別ディスカッション

福島事故検証課題別ディスカッションを開催しました。各課題の開催状況は以下のとおりです。

課 題	開催実績			
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
地震動による重要機器の影響	H25. 11. 07	H26. 1. 14	H26. 4. 28	<u>H26. 8. 20</u>
海水注入等の重大事項の意思決定	H25. 11. 19	H26. 1. 31	H26. 5. 19	H26. 8. 4
東京電力の事故対応マネジメント	H25. 11. 14	H26. 2. 4	H26. 4. 26	H26. 7. 28
メルトダウン等の情報発信の在り方	H25. 11. 14	H26. 2. 4	H26. 4. 26	<u>H26. 9. 2</u>
高線量下の作業	H25. 11. 30	H26. 1. 18	H26. 5. 8	H26. 6. 19
シビアアクシデント対策	H25. 10. 31	H26. 1. 25	H26. 6. 13	<u>H26. 8. 8</u>

議論の概要は、事務局で取りまとめたのち公開しています。当日の資料等、詳細につきましては、以下の原子力安全対策課のホームページからご覧になれます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

3. 原子力災害時の避難時間推計シミュレーション結果

原子力災害時の広域避難対策の検討に活用するため、避難時間推計シミュレーションを実施しました。内容については、別紙のとおりです。

4. 放射性物質の飛散・流出防止及び速やかな公表と説明の徹底を要請しました。

8 月 8 日、放射性物質の飛散・流出防止とその可能性がある場合の関連情報の速やかな公表と説明の徹底について、原子力規制委員会及び東京電力に対し要請しました。内容については、別紙のとおりです。

5. 新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議

8月29日、新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議を開催し、平成25年度に実施した柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線及び温排水等の監視調査結果について評価をいただきました。評価結果の概要は以下のとおりです。

環境放射線監視調査：発電所からの周辺環境への影響は無視できるものと判断した。

温排水等漁業調査：過去と比較して特異な傾向は認められなかった。

6. 東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けました。残りの請求額については、協議を継続中です。

- ・ 8月14日受領 637,999円 (空間線量測定費用の一部)
- ・ 9月2日受領 9,525,201円 (臨時職員費用の一部)

7. その他

8月8日：報道発表 [放射性物質の飛散・流出防止及び速やかな公表と説明の徹底を要請しました。] 別紙参照

8月14日：報道発表 [東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました。] 別紙参照

8月26日：報道発表 [原子力災害時の避難時間推計シミュレーション結果についてお知らせします。] 別紙参照

9月2日：報道発表 [東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました。] 別紙参照

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会

(平成 26 年度第 2 回)

会 議 次 第

日 時：平成 26 年 8 月 27 日(水) 13:30～16:00

場 所：自治会館 1F 講堂

1 開会挨拶

2 議題

福島第一原子力発電所事故の検証について

- ・福島事故検証課題別ディスカッションの議論の状況について

3 報告事項

- ・フィルタベント設備の検証の進め方について
- ・福島第一原子力発電所の状況について
- ・原子力災害時の避難に関する課題について（避難時間推定シミュレーション）

4 閉会挨拶

[配 付 資 料 一 覧]

資料No. 1	福島事故検証課題別ディスカッションの議論の状況について（課題 1～6）
資料No. 2-1	フィルタベント設備の検討のための事故想定について
資料No. 2-2	「フィルタベント設備の検討のための事故想定」における各ケースにおける放出量評価方法について（東京電力）
資料No. 2-3	フィルタベント設備に関する確認事項（東京電力）
資料No. 2-4	フィルタベント設備に関する確認事項 補足説明資料（東京電力）
資料No. 3	福島第一原子力発電所の汚染水の状況について（東京電力）
資料No. 4	原子力災害時の避難に関する課題について ～避難時間推定シミュレーション結果から～

福島事故検証課題別ディスカッション シビアアクシデント対策（第4回）

日時 平成26年8月8日(金) 13:30～16:00

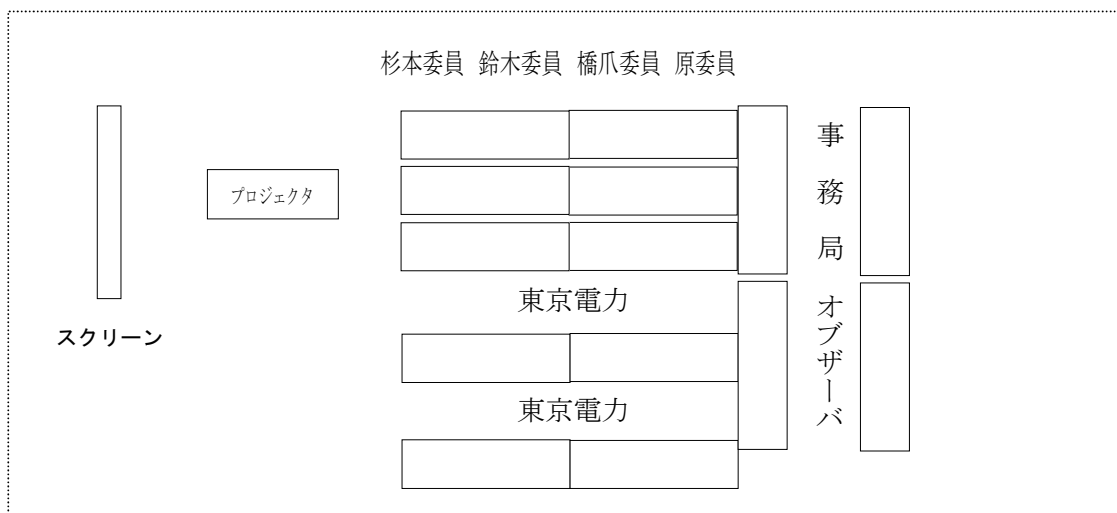
場所 県庁203会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明、ディスカッションの進め方等
- 3 テーマ 福島第一原子力発電所事故に関するシビアアクシデント対策
 - (1) 消防車による代替注水は有効であったのか。
 - (2) 原子炉や水素爆発の状態等はどうなっているのか。他
- 4 閉会挨拶

出席者

区分	職名	氏名	
委員	コア メンバー	京都大学大学院工学研究科教授	杉本 純
		日本原子力研究開発機構安全研究センター燃料安全研究グループ非常勤嘱託	鈴木 元衛
		東北大学大学院工学研究科教授	橋爪 秀利
		新潟工科大学副学長	原 利昭
東電	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター所長	宮田 浩一	

座席表



福島事故検証課題別ディスカッション 地震動による重要機器の影響（第4回）

日時 平成26年8月20日(水) 13:30～16:30

場所 県庁 西回廊講堂

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション

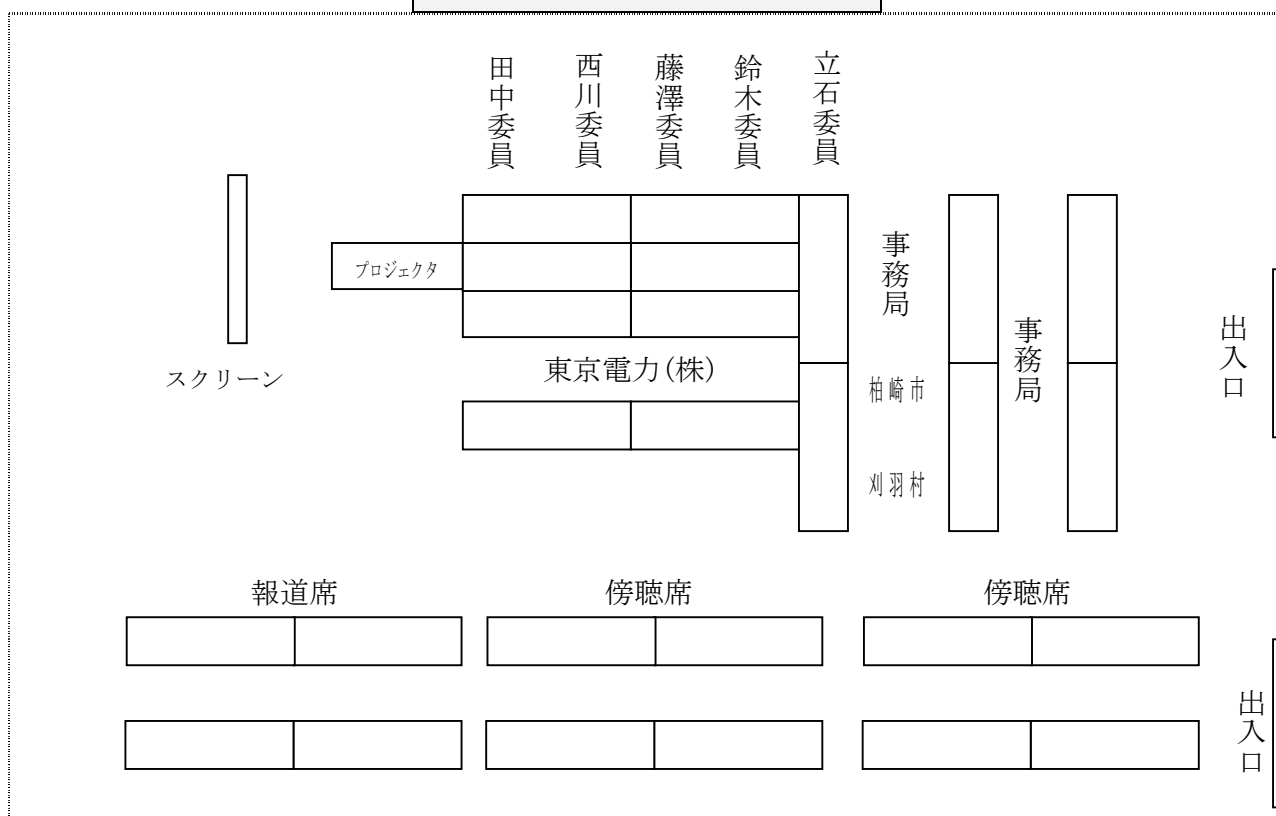
テーマ 非常用復水器(IC)等の重要配管に小破口 LOCA は起きなかったのか。他

- 4 閉会挨拶

出席者

区分	職名	氏名	
委員	コア メンバー	科学ジャーナリスト	田中 三彦
		首都大学東京名誉教授	西川 孝夫
		新潟大学工学部（教育組織）教授新潟大学可視化情報研究センター（教育組織）センター長 教授	藤澤 延行
		日本原子力研究開発機構安全研究センター燃料安全研究グループ非常勤嘱託	鈴木 元衛
		新潟大学名誉教授	立石 雅昭
東京	原子力設備管理部長	川村 慎一	
電力	柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター所長	宮田 浩一	

座席表



福島事故検証課題別ディスカッション メルトダウン等の情報発信の在り方（第4回）

日時 平成 26 年 9 月 2 日(火) 13:30～16:00

場所 県庁 西回廊 大会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション

テーマ 情報発信においての問題点と対策

＜議論のポイント＞

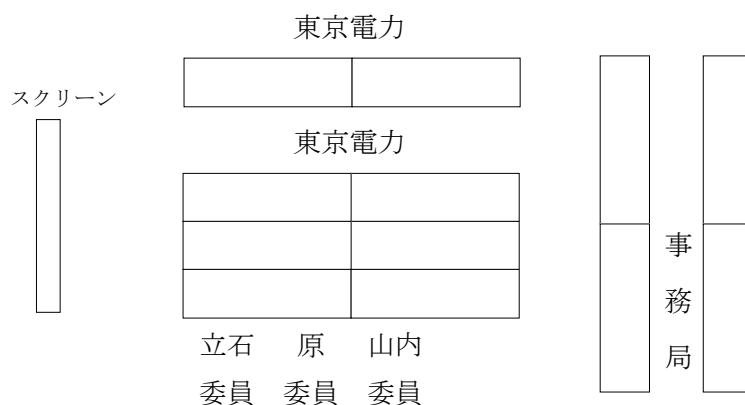
- ・東京電力から外部への連絡はどのような状況だったのか。
 - ・国等の対応は正しかったのか。 等

- 4 閉会挨拶

出席者

区分	職名	氏名	
委員	コア メンバー	新潟大学名誉教授	立石 雅昭
		新潟工科大学副学長	原 利昭
		多摩大学情報社会学研究所教授	山内 康英
東京 電力		原子力運営管理部長	五十嵐信二
		原子力改革特別タスクフォース事務局長代理	松本 純一
		柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター所長	宮田 浩一

座席表



平成26年 8 月 8 日
防 災 局

放射性物質の飛散・流出防止及び
速やかな公表と説明の徹底を要請しました。

本日、放射性物質の飛散・流出防止と、その可能性がある場合の関連情報の速やかな公表と説明の徹底について、原子力規制委員会に対し下記のとおり要請しました。

記

- 1 日 時 平成26年 8 月 8 日（金） 15時15分
- 2 場 所 原子力規制委員会（東京都港区六本木 1 丁目 9 番 9 号）
- 3 内 容 別紙 1 のとおり
- 4 その他 県危機管理監が原子力規制庁放射線防護対策部長へ文書を手交し要請しました。
また、東京電力株式会社に対して別紙 2 のとおり要請しました。

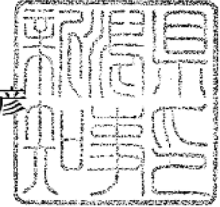
本件についてのお問い合わせ先
放射能対策課長 渋谷
(直通) 025-282-1693 (内線) 6460

平成26年 8 月 8 日



原子力規制委員会委員長
田中 俊一 様

新潟県知事 泉田 裕彦



放射性物質の飛散・流出情報の速やかな公表と説明の徹底等について

平成25年 8 月19日に福島第一原子力発電所周辺のモニタリングポストの数値の上昇が確認されたほか、同年秋に南相馬市で収穫された米の一部で基準を超える放射性セシウムが検出されました。その原因は、福島第一原子力発電所構内で行われたがれき撤去作業で飛散した放射性物質の可能性が高いとのことです。

本件について、原子力規制委員会、農林水産省及び環境省は、放射性物質の飛散に関する情報を入手していたにも関わらず、地元に対して速やかに説明していないとお聞きしました。

つきましては、住民の被ばく防止の観点から、下記のとおり要請します。

なお、貴職にあっては、地域の安全を如何に確保するかという組織の本来の目的を果たすためにも、本県がかねてから求めているとおり、立地自治体の声を聞く機会を持つよう改めて要請します。

記

1 放射性物質の飛散・流出防止の徹底

東京電力に対し、放射性物質の飛散・流出を防止するための十分な措置を徹底させること

2 速やかな公表と説明の徹底

(1) 放射性物質の飛散・流出や、その可能性がある場合には、関連する情報を速やかに公表し、説明すること

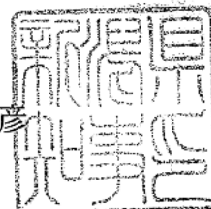
(2) 各省庁に対し、放射性物質の飛散等の情報を入手した場合、速やかに公表等するよう勧告すること

平成26年 8 月 8 日



東京電力株式会社
代表執行役社長 廣瀬 直己 様

新潟県知事 泉田 裕彦



放射性物質の飛散・流出情報の速やかな公表と説明の徹底等について

平成25年 8 月19日に福島第一原子力発電所周辺のモニタリングポストの数値の上昇が確認されたほか、同年秋に南相馬市で収穫された米の一部で基準を超える放射性セシウムが検出されました。その原因は、福島第一原子力発電所構内で行われたがれき撤去作業で飛散した放射性物質の可能性が高いとのことです。

つきましては、住民の被ばく防止を第一とする観点から、下記のとおり要請します。

記

1 放射性物質の飛散・流出防止の徹底

住民の被ばく防止を第一とし、原子力発電所からの放射性物質の飛散・流出を防止する措置を徹底すること

2 速やかな公表と説明の徹底

放射性物質の飛散・流出や、その可能性がある場合には、関連する情報を速やかに公表し、説明すること

新潟県原子力発電所周辺環境監視 評価会議（第61回）次第

日時 平成26年8月29日（金）
15時15分から17時00分
場所 新潟市中央区新光町4番地1
新潟県庁西回廊講堂

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

- (1) 柏崎刈羽原子力発電所の最近の状況について
- (2) 福島第一原子力発電所の最近の状況について
- (3) 平成25年度柏崎刈羽原子力発電所の運転保守状況及び放射性物質の
放出状況について
- (4) 平成25年度環境放射線監視調査結果について
- (5) 平成25年度温排水等漁業調査結果について

4 議 事

- (1) 平成25年度の環境放射線監視調査結果の評価について
- (2) 平成25年度の温排水等漁業調査結果の評価について

5 そ の 他

- (1) 平成25年度県内全域におけるバックグラウンド調査結果について

6 閉 会

東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

本日、県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

1 今回の受領額

637,999円 (平成26年 8 月 14 日受領)

※平成22, 23年度発生経費 (一般会計) 請求額の一部

2 受領額の内容

空間線量測定費用の一部

3 その他

(1) 請求及び受領の状況

(単位:円)

発生年度	請求日	区分	請求額	今回受領額	受領額累計	備考
H22・23	①H24. 12. 26 ②H25. 3. 29	一般会計	364,716,786	637,999	173,114,303	
	①H24. 12. 26 ②H25. 3. 29	工業用水道	391,587,383	-	382,814,716	
	H24. 12. 26	流域下水道	5,073,703	-	5,073,703	
		小計	761,377,872	637,999	561,002,722	
H24	H25. 12. 3	一般会計	266,994,364	-	-	
	H25. 10. 24	工業用水道	580,922,144	-	579,960,603	
	H25. 10. 24	流域下水道	1,139,775	-	1,139,775	
		小計	849,056,283	-	581,100,378	
		合 計	1,610,434,155	637,999	1,142,103,100	

(2) 今後費用の発生等が確認できたものについて順次請求します。

本件についてのお問い合わせ先
放射能対策課 課長補佐 葉葺 (はぶき)
(内線) 6461 (直通) 025-282-1702

東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

本日、県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

1 今回の受領額

9,525,201円 (平成26年9月2日受領)

※平成22,23年度発生経費(一般会計)請求額の一部

2 受領額の内容

臨時職員費用の一部

3 その他

(1) 請求及び受領の状況

(単位:円)

発生年度	請求日	区分	請求額	今回受領額	受領額累計	備考
H22・23	①H24.12.26 ②H25.3.29	一般会計	364,716,786	9,525,201	182,639,504	
	①H24.12.26 ②H25.3.29	工業用水道	391,587,383	-	382,814,716	
	H24.12.26	流域下水道	5,073,703	-	5,073,703	
		小計	761,377,872	9,525,201	570,527,923	
H24	H25.12.3	一般会計	266,994,364	-	-	
	H25.10.24	工業用水道	580,922,144	-	579,960,603	
	H25.10.24	流域下水道	1,139,775	-	1,139,775	
		小計	849,056,283	-	581,100,378	
		合 計	1,610,434,155	9,525,201	1,151,628,301	

(2) 今後費用の発生等が確認できたものについて順次請求します。

本件についてのお問い合わせ先
 放射能対策課 課長補佐 葉菫(はぶき)
 (内線) 6461 (直通) 025-282-1702